

2024年度 出力制御見通しについて

2024年 9月 18日

関西電力送配電株式会社

<シミュレーションの前提条件>

- 需要、太陽光・風力の前日想定値・実績値は2022年度データを使用
- 需要は、至近の実績を踏まえ、2022年度需要から約3%程度の需要減を考慮
- 太陽光・風力の設備量は、2024年3月末設備量に至近の増加量を考慮
- 火力は、エリア需給運用において必要最小限を織り込む
- 供給力は、2024年度補修計画を織り込む
- 連系線活用量は、4連系線の運用容量合計の20%分受電として算定
(2024年度のうち、再エネ制御を実施している時間帯における連系線の実績平均)

2. 2024年度の再エネ出力制御の見通しについて

3

〈2024年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2024年度 見込み	2.44% (1.69億kWh) 太陽光：2.51% 風力：0.65%	1.17% (0.08億kWh) 太陽光：1.25% 風力：0.34%	0.73% (0.12億kWh) 太陽光：0.73% 風力：0.00%	1.78% (0.03億kWh) 太陽光：1.78% 風力：0.00%	2.03% (1.92億kWh) 太陽光：2.08% 風力：0.59%	1.68% (1.65億kWh) 太陽光：1.71% 風力：0.59%
(参考) 2024年度 エリア全体オンライン化	0.90% (0.46億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%		0.90% (0.38億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%	0.90% (0.02億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.00%	0.90% (0.86億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%	0.87% (0.86億kWh) 太陽光：0.87% 風力：0.80%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	4.26% (1.62億kWh) 太陽光：4.33% 風力：1.72%	0.05% (0.03億kWh) 太陽光：0.05% 風力：0.09%	1.68% (1.65億kWh) 太陽光：1.71% 風力：0.59%

〈2024年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2024年度 見込み	2.02% (0.77億kWh) 太陽光：2.14% 風力：0.66%	0.34% (0.02億kWh) 太陽光：0.34% 風力：0.00%	0.34% (0.05億kWh) 太陽光：0.34% 風力：0.00%	0.34% (0.00億kWh) 太陽光：0.34% 風力：0.00%	0.86% (0.84億kWh) 太陽光：0.87% 風力：0.66%	0.73% (0.84億kWh) 太陽光：0.83% 風力：0.66%
(参考) 2024年度 IPIA全体オンライン化	0.49% (0.26億kWh) 太陽光：0.50% 風力：0.30%		0.49% (0.21億kWh) 太陽光：0.50% 風力：0.30%	0.49% (0.01億kWh) 太陽光：0.49% 風力：0.00%	0.49% (0.48億kWh) 太陽光：0.50% 風力：0.30%	0.47% (0.48億kWh) 太陽光：0.48% 風力：0.30%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

- 4～7月の出力制御実績は、当初想定と比較して増加。
- 8月以降の見通しについても、需要の減少や最新の作業計画の反映等により、出力制御が増加する見込み。

項目	内容
需要	・当初想定と比較して、4～7月の月平均で0.4%程度減少。 ・この傾向が継続すると仮定して、8月以降の見通しについては、当初想定から一律0.4%減少させて再算定を実施。
連系線活用率	・4～7月の再エネ抑制実施日の連系線活用率は、当初想定通り20%程度の受電であった。 ・8月以降についても、当初想定通り20%の受電と想定した。
太陽光、風力	・4～7月の太陽光および風力の発電実績は、当初想定と比較して日射量や設備導入量等が減少したことにより、5%程度減少。 ・8月以降については、至近の設備導入量の状況を反映して再算定を実施。
揚水、原子力 火力	・4～7月の原子力発電の実績は、点検工程変更等により、当初想定と比較して20%程度増加。 ・6月初旬の揚水ポンプ可能量の実績は、作業等により、当初計画と比較して15%程度減少。 ・8月以降については、最新の補修計画を踏まえ、再算定を実施。
その他	—

- 現在のオンライン化状況は以下のとおり。今後も、旧ルールのおフライン事業者に対して、ダイレクトメールの送付等の機会を活用しオンライン化の推奨を継続して実施していく。

【関西エリアにおけるオンライン化の状況※】

		2024年3月末	(参考) 2023年9月末
太陽光	①オンライン化率 $((②+④)/(②+③+④))$	59.5%	55.0%
	②新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	148.3万kW	137.5万kW
	③旧ルール、オフライン事業者	125.7万kW	134.5万kW
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	36.1万kW	26.8万kW
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④/(③+④))$	22.3%	16.6%
風力	⑥オンライン化率 $((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))$	63.1%	45.0%
	⑦新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	7.4万kW	7.4万kW
	⑧旧ルール、オフライン事業者	6.1万kW	9.1万kW
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	3.0万kW	0.0万kW
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨/(⑧+⑨))$	33.0%	0.0%

※「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光10kW以上）」について算定。

- 関西エリアの太陽光・風力の導入状況は、以下の通り。
- 2024年3月末時点で太陽光754万kW、風力17万kW。
- 太陽光は年間約40万kWのペースで増加。

[万kW]

